

議会活動

学校適正化配置 調査特別委員会

当委員会は、当町における児童・生徒数の現状及び将来的な推移についての調査を行うと共に、学校の適正化・跡地利用等を検討する目的で、第1回定例会において設置されました。

茨城県では小中学校について、児童生徒の社会性の育成及び、互いに切磋琢磨する場として一定の規模が必要であるとの考えから、適正規模の基準を提示しており、小学校においてはクラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上、中学校においてはクラス替えが可能で、全ての教科の担任が配置できる9学級以上が望ましいとしております。

当町における現状は、児童生徒数は少子化の進行に伴い減少傾向にあり、小学校では境小学校17学級・長田小学校11学級・猿島小学校7学級・森戸小学校9学級・静小学校6学級であり、中学校においては境第一中学校14学級・第二中

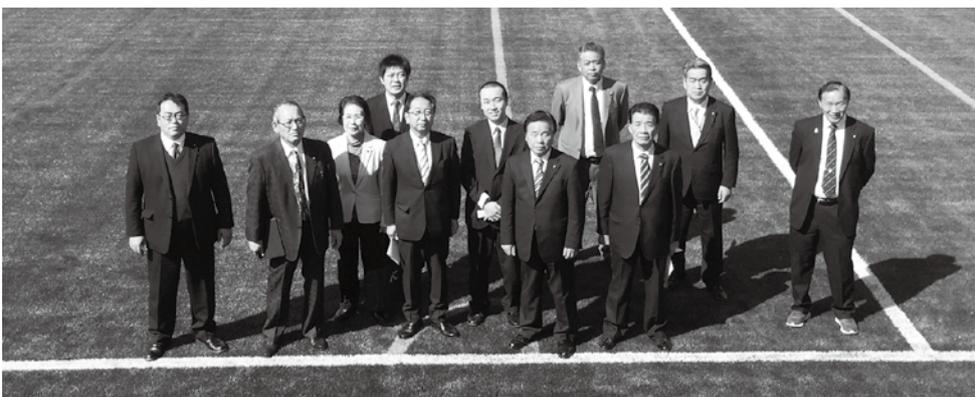


学校適正化配置調査特別委員会

学校6学級となっており、県の基準を満たしている学校が小中学校合わせ2校のみとなっております。今後、当特別委員会では、各学区における歴史や地域との関係性を考慮しながら、児童生徒のより良い教育環境や学習環境、人間関係の構築など、様々な観点から学校の適正化配置を検討すると同時に、跡地利用等も踏まえ調査・検討していきたいと思っております。



(生涯学習課の担当より説明を聞く)



(町営サッカー場)

文化村リノベーション
リニューアルオープン間近の境町サッカー場視察

新しく素敵な公共空間に生まれ変わらせる文化村を、境町議会で視察しました。